

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名	登別市名誉市民及び功労者表彰・市表彰事業			
-------------------	--------------	----------------------	--	--	--

区分	番号	名 称					
章	6	担いあうまちづくり					
節	9						
施策	9						
小分類	9						
主要な施策	9						
事務事業番号	003	事務事業コード	69999003	事業開始年度	昭和 5 2 年度	事業終了年度	平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	功労者・市民表彰経費
------	------	------------	------------

部 名	総務部	グループ名	総務 G
-----	-----	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 本市の自治、社会、産業、教育文化、体育等の振興発展に顕著な功績のあった方を対象に表彰する。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 1 1 月 3 日市民会館において、式典を行い表彰者に功労章や市表彰盾等を贈呈する。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 市勢等の振興発展に寄与された方を表彰することにより、市民総意の感謝を伝え、登別市を大切にすることを培う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 登別市名誉市民条例、登別市名誉市民条例施行規則、登別市功労者表彰条例、登別市功労者表彰条例施行規則、登別市功労者表彰選考基準、登別市功労者表彰及び登別市表彰被表彰者推薦委員会設置要綱、登別市表彰規則、登別市表彰選考基準

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	功労者表彰者数	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	10				
	市表彰表彰者数	人	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	35				

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	1,154	1,855	1,443			1,443
合 計			1,154	1,855	1,443	0	0	1,443
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	996	1,125			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		996	1,125			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市に対して功績のあった方及び団体を表彰することは、日頃の市勢貢献に感謝するまたとない機会であり、市民がまちに関心を抱き、まちを大切にしようとする心を養うために必要である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 受賞を契機に今後のさらなる活動につながっているため。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 継続実施により、市民がまちに関心を抱き、まちを大切にしようとする心を養うことができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 平成22年度より功労者に対する功労金5万円、記念品、略章を廃止し、コスト削減した。現段階でできるコストの削減は実施済みであるため。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	市に対して功績のあった方及び団体を表彰することは、日頃の市勢貢献に感謝するまたとない機会であり、市民がまちに関心を抱き、まちを大切にしようとする心を養うために必要である。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）